

「コミュニティ・スクール川上」通信

発行：川上小学校運営協議会



令和4年3月4日撮影

つなごう！つながろう！
ふるさと蒜山に誇りをもち
未来の創り手となる 心豊かな子どもの育成

「メディアとの付き合い方について考えよう」

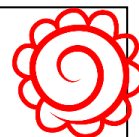
ネットモラル学習を3・4年親子対象で実施しました。

昨年度の川上小学校運営協議会の反省で、「子ども達は、小さい時からゲームやネットにふれているので、従来5・6年生で行っていたネットモラル学習を、もっと早期に実施した方がいい」という意見が出ました。そこで今年度は、3・4年生親子を対象に、10月17日（月）の参観日に真庭市家庭教育支援チーム「親育ち応援プログラム」を活用して、「スマホやゲームとのかしこい付き合い方」について学習しました。



【児童の感想から】

- ・これからは、ちゃんとルールを作って使うようにしたいです。
- ・通信するときの言葉遣いに気をつけたり、ルールを守ったりしようと思いました。



【保護者の皆さんの感想から】

- ・ルールは作っているけれど、なあなあになっているので、もう一度確認したいと思いました。
- ・親から押しつけたルールではなく、子どもと話し合っで決めることが大事だと思いました。
- ・ゲームは身体のために悪いという事は言われますが、では何故子供がゲームをしなければならないのかの背景などは一切語られなくて、まともな公園すら無い地域で、子供の居場所の事に何も目を向けずに、しかもコロナ禍だった事にも触れずに、ただ単に今度はゲームまで否定。では観光に携わる地域の働き手は子供に何をさせたら良かったのでしょうか。

感想やご意見をありがとうございました。家庭教育支援チームの方々は、「一方的にゲームはダメというのではなく、よりよい付き合い方を考えましょう。」という提案をしてくださいました。それぞれの家庭状況や事情もあります。また、子ども達が判断するための知識も必要です。しっかりお子さんと話し合ってもらうきっかけとなればと思います。